

# 「中間ふりかえり」のあり方について

—第5学年の実践を通して—

谷 栄 次

## 1 中間ふりかえりをなぜ行うか

「自分タイム」のねらいは、自ら設定した課題の追究を楽しみながら、学習の仕方を習得し、自分の生活をより豊かにしようとする子どもを育てることにある。この場合の学習の仕方とは、自ら課題をつくり、計画し、追究したことをまとめ、表現する、そして自らふりかえり次に生かしていく一連の活動をさしている。充実した追究活動にしていくためには、特に「ふりかえりの場」が重要になってくる。自分の活動の成果と改善点をその都度明確にすることが次の活動の質を高めることにつながるからである。節目となる中間ふりかえりは、毎時間のふりかえりをもとに、課題達成を視野に入れ、方向性を確認したり、軌道修正したりすることが目的となる。また、自分の課題達成が活動の中心となる自分タイムでは、中間ふりかえりが相互の活動に対する思いの交流の場としても重要な位置づけとなる。

## 2 実践例「自分タイムⅡー広げよう 深めよう自分をー」

### (1) 児童の課題について

課題の類別	人数	主 な 内 容
創る・造る	9	・学校の模型 ・鉄道ジオラマ ・折りたたみ椅子 ・未来の街
作る	11	・世界の料理 ・お好み焼き ・弥生人の料理 ・オリジナルおかしなど
描く	4	・学級みんなの似顔絵 ・ゴッホの絵の複写 ・絵本作り
極める	5	・バスケットボール（シュートやドリブル）
調べる	10	・恐竜 ・は虫類 ・盲導犬 ・未確認生物 ・カップラーメン ・日本史で活躍した人々 ・ミクロの世界 など

### (2) 活動のねらいと計画について（全18時間）

活動過程	時間	ね ら い
テーマタイム	3	○自分タイムⅠの活動をふりかえり、これからの活動に対する意欲をもとうとする。 ○日常生活の中から自分の興味・関心のあることを選び、課題を決めようとしている。 ○ゴールのイメージを描くことで活動の見通しをもち、計画を立てようとしている。
追究タイム 中間ふりかえり	12	○自分の考えた計画にそって、追究活動に没頭している。 ○活動をふりかえることを通して、計画を修正したり成果と課題を明確にしたりしようとしている。 ○これまでの活動を生かし、課題にあった追究方法をさらに広げようとしている。
表現タイム	2	○伝えたいことを明確にし、これまでの活動についてまとめ、表現している。 ○自分の活動と比べることで友だちの活動のよさに気づき、自分の活動の中に取り入れようとしている。

ふりかえりタイム	1	○活動全体から学んだこと・学び方・自分についてふりかえることを通して、達成感や満足感を味わい、次に生かす点を明確にしている。
----------	---	----------------------------------------------------------------

### 3 授業の実際－中間ふりかえりの場面－

10時間の追究時間の内、6時間の追究活動が済んでいる段階で中間ふりかえりを行った。具体的な学習活動として、次の2つを考えた。

- ①みんなの活動状況や思いを知り、自分を見つめるきっかけにするために、学級全体のふりかえりから気づきや思いを自由に発言する場を設定する。
- ②具体的な気づきやアドバイスを引き出すために、特定の児童を取り上げ、話し合う場を設定する。

#### ①学級全体のふりかえりから気づきや思いを自由に発言する場の実際

児童の意見をもとにふりかえりの観点を示し、まとめると次のようになった。

自分タイムⅡ ー中間ふりかえりの結果ー	
<b>課題について</b> ○これで行ったと思いますか？	
結果	主なキーワード
はい 29名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動が楽しい</li> <li>・苦手を克服</li> <li>・前からずっとやりたい課題だから</li> <li>・自分の思いから始めたから</li> <li>・考えていた益の活動ができた</li> <li>・新しい発見、喜びがあった</li> <li>・だれもやっていないことだから</li> <li>・できないことができるようになった</li> </ul>
いいえ 4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知る喜び</li> <li>・上手にできた</li> <li>・大人になっても役立つ</li> <li>・体育の時間に役立つ</li> <li>・大好きな食べ物が作られる</li> <li>・少しコツがつかめた</li> <li>・協力の重みが分かった</li> <li>・友だち関係も深まった</li> <li>・自分で作った物を使いたい</li> </ul>
わからない 6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題が大きすぎて(多すぎて)無理</li> <li>・まだ自分の課題を達成していない</li> <li>・一つも作れていない</li> <li>・楽しいけどつかれる</li> <li>・好きだけなかなか進まない</li> <li>・先を見ないと何とも言えない</li> <li>・完成するかどうかわからない</li> </ul>
<b>追究活動について</b> ○計画の立て方はどうでしたか？計画通り進んでいますか？	
はい 17名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理なく計画通り</li> <li>・準備の相談、分担、責任を果たした</li> <li>・むずかしいことを自分なりに変えた</li> <li>・アドバイスを聞いて、ちがうものに変えた</li> </ul>
いいえ 21名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遅れている</li> <li>・なまけた</li> <li>・計画以外のこともやっている</li> <li>・何をやるかや資料集めで時間がかかった(時間が足りない)</li> <li>・計画を追いかけるようになってしまった</li> <li>・計画通り行かなくてもアイデアは、いっぱい</li> </ul>
どちらとも言えない 1名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少し時間がかりすぎ</li> </ul>
<b>○集中・没頭して、楽しんで取り組んでいますか？</b>	
はい 34名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足のものになっている(楽しんでる)</li> <li>・やりたいこと、好きなことだから</li> <li>・汗が出るほど集中、真剣</li> <li>・リーグ戦の作戦を考えながら</li> <li>・うまくできるように気をつけている</li> <li>・時間をむだにせず取り組んだ</li> <li>・時間を忘れるくらいやっている</li> <li>・むだ話はしなかった</li> <li>・おしゃべりしながらやるのは楽しい</li> </ul>
いいえ 2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の活動が気になる</li> <li>・楽しめ方を変えていたような……</li> </ul>
どちらとも言えない 3名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時にまじめに、時にふざける</li> <li>・楽しいが、頭の切りかえがおそい</li> </ul>
<b>○かかわりについて</b> ○「やってみたら分かった」ということはありますか？	
ある 34名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的に内容が深まった、分かった</li> <li>・(壁台特急のこと、シュートのねらい所、ドリブルの方法、文化やくらし、爬虫類の進化、くぎの打ち方、身近なものが一つの作品になど)</li> <li>・楽しい(意外と楽しい)</li> <li>・料理、絵本作りの大変さ、活動の難しさ</li> <li>・想像とちがっていることが……</li> <li>・人が「おいしい」と言ってくれた時の喜び</li> <li>・調べたことをやってみたら本当だった</li> <li>・グループでうまくいっている</li> <li>・自分も案外できる、うまい</li> <li>・けっこう簡単に見える</li> </ul>
ない 5名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の大切さ</li> <li>・作れる量が予想とちがう</li> <li>・今の段階ではまだ……</li> <li>・活動が進まずくやしいがない</li> </ul>
<b>○自分以外の人とかかわりながら活動していますか？</b>	
はい 32名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ課題の人と</li> <li>・かかわりすぎかも？</li> <li>・親と相談</li> <li>・友だちのアドバイス、インタビュー、感想を聞く</li> <li>・みんなで試合</li> <li>・自分のものでも4人でまた一つのものにもなる</li> <li>・相談し合う、けなさないという自然とルールができた</li> </ul>
いいえ 7名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人でやり疲れたい</li> <li>・一人で集中してやっている</li> </ul>

この結果を受けて、児童から次のような気づきが出された。

- ・計画が早く、一生懸命やっても追いつけないのは、ぼくと同じだ。
- ・意外と楽しいという自分と同じような考えをもっている。
- ・活動している姿を見ていると意外にみんな悩んでいると感じた。
- ・内容が深まったと書いてあるので知識がついていると思う。
- ・自分も満足のもの、時間を忘れるくらいの活動がしたい。
- ・集中・没頭で、いいえの人はまだ大丈夫だと思う。自分を深く反省できているから。
- ・課題については、一つのことをやろうとしたということで、うまくいかななくてもみんな「はい」になると思う。
- ・やってみて分かったことがない人は、今の段階ではあまり探っていないのかもしれない。本当の楽しさはどの課題でもあると思う。

#### ②特定の児童を取り上げ、話し合う場の実際

授業の中では、全てが順調に進んでいるA児と試行錯誤しながらも楽しんでるB児の

2名を取り上げた。

	A 児	B 児
主な報告内容	課題は、未来の街づくり。追究1では〇〇を、追究2では〇〇を、追究3では〇〇を。完成のイメージをもって一人でできている。思ったより簡単にできた。今のところ考え通りにできている。活動中は集中して時間を忘れる。ボンドのつけ方・電球のつなぎ方などいろいろな発見がある。最後に4人で街を作り1つにするのが楽しみ。これからも集中してやりたい。	課題は、手作りの絵本を15冊つくる。追究1では〇〇を、追究2では〇〇を、追究3では〇〇を。アレンジできるようにしたいが、構成がうまくいなくて苦勞した。冬休みもがんばったが15冊作る予定がまだ1冊もできていない。でも絶対にやめたくない。とても複雑な気持ち。やってみて分かったことは、1日にできる量が違うこと。これから1冊1冊心を込めて作りたい。
気づきや感想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボンドのつけ方など工夫して分かったことがあってよかった。</li> <li>・実物を見せながらの発表がよかった。</li> <li>・しっかり追究できていていいな。ぼくは悔しい。</li> <li>・追究の1回1回に発見があってよかった。</li> <li>・何かを造るというのもいいなと思った。</li> <li>・こうしたいというアイデアが多い人だと思う。</li> <li>・木や板だけではなく電球まで使って発明家みたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1冊の絵本づくりに心を込めて作ってください。</li> <li>・この課題をしたいという気持ちが伝わってきた。</li> <li>・難しい課題でもがんばっている、一生懸命がいい。</li> <li>・投げ出さないとこに感心した。</li> <li>・心を込めて作ることは他の人のヒントになる。</li> <li>・苦戦しても課題に向かって作っているのがいい。</li> <li>・やり遂げようと思った気持ちがすごい。</li> <li>・絵本づくりへのこだわりが感じられる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2人を比べて、課題は違っているけど前向きな姿勢は共通している。</li> <li>・2人とも緊張の中に生き生きしたものがある。いい自分タイムになっていると思う。</li> </ul>	

#### 4 考察

自分タイムの追究活動は、個の活動・グループ活動が主になって進められる。それだけに、活動状況から友だちの思いを知ったり、相互に気づきやアドバイスを出し合ったりする学級全体での話し合いの場を設定することは、重要であることを実感した。また、グループごとに分かれてのセッション形式による中間ふりかえりと比べて、一人ひとりの思いや気づきの交流がどのように行われたのかを具体的に把握できる、その場で適切な言葉かけをすることで全体に投げかけられるといったよさも感じた。しかし、一単位時間の活動が多すぎたため、話題を絞り込んで話し合いを深めていくということができなかった。

そこで、①と②の話し合い活動が中間ふりかえりとして適切な場となっていたのかについて改善の方向性を具体的に示し、本稿のまとめにかえたい。

##### ①学級全体のふりかえりから気づきや思いを自由に発言する場について

共感的な感想や励ましの言葉が出されたものの、どの部分を自分のものにしていくのかが曖昧になってしまっている。自分タイムの性格上、自分のやっていることと他の児童がやっていることに具体的な共通点を見出しにくく、抽象的・一般的な内容になってしまった。ふりかえりの観点の中に「具体的に困っていること」を取り入れ、それを全体場で紹介することでアドバイスを引き出す方が効果的だったと考えられる。

##### ②特定の児童を取り上げ、話し合う場について

気づきや感想が自分タイムに対する姿勢や大まか気づきを発言するにとどまっている。A児の順調な理由やB児の課題を変えない理由に焦点化を図り、立ち止まって話し合いを深める場にする、A児B児の報告の中に活動の特色が色濃く表れるように事前指導をするといった改善点があげられる。